

普及項目	加工、流通
漁業種類等	ノリ養殖
対象魚類	ノリ
対象海域	熊本有明海

有明海地区及び松尾地区の第3期浜の活力再生プランの策定 並びにノリ養殖網冷凍施設改築計画方針作成の指導・支援

県北広域本部水産課・中尾 和浩

【背景・目的・目標（指標）】

県では、平成25年度（2013年度）から国の施策に基づき、漁業地域の活性化を目的に、浜ごとの特性を活かした創意工夫により、漁業者自らが中心となり漁業者の所得向上を目指す「浜の活力再生プラン」（以下「浜プラン」という。）の策定を推進してきた。

令和7年度（2025年度）は、有明海地区第3期広域浜プラン及び松尾地区第3期浜プランの策定並びに、老朽化が進む網田地区ノリ養殖網冷凍施設の改築計画方針の作成に向け、漁業者及び漁協等の支援・指導を行った。

【普及の内容・特徴】

（1）浜プラン等の策定の指導・支援

ア 有明海地区第3期広域浜プラン

熊本県有明海地区広域水産業再生委員会（事務局：熊本県漁業協同組合連合会（以下「県漁連」という。））が主体となって策定する第3期広域浜プラン（令和8年度から5年間）について、令和7年（2025年）9月から令和8年（2026年）3月まで、県漁連に対し延べ10回の関係機関担当者会議を開催し、計画内容の整理及び原案作成に係る指導を行った。

イ 松尾地区第3期浜プラン

松尾地区地域水産業再生委員会（事務局：松尾漁業協同組合）が主体となって策定する第3期浜プラン（令和8年度から5年間）について、令和7年（2025年）10月から令和8年（2026年）3月まで、松尾漁業協同組合等に対し延べ11回の作成指導を行った。

（2）ノリ養殖網冷凍施設の改築計画方針の作成の指導・支援

網田漁業協同組合が事業主体となり、昭和50年度（1975年度）に宇土市網田地区に国庫補助事業（水産庁：沿岸漁業構造改善事業）を活用して整備されたノリ養殖網冷凍施設は、これまで建物や機械設備のメンテナンスにより長年運用されてきた。しかし、施設の老朽化が進行し、今後の安定的なノリ養殖経営を継続するためには、施設改築に向けた検討が必要となった。そこで、改築計画方針を作成するために、漁協が主体となり建築専門家（建築士）及び宇土市等関係機関との担当者会議が令和7年（2025年）8月から令和8年（2026年）3月までに4回開催された。また、当課からも、改築計画方針の作成について支援を行った。

【成果・活用】

（1）浜プラン等の策定の指導・支援

指導の結果、令和8年（2026年）3月に有明海地区広域浜プランは水産

庁の承認を受けた。また、松尾地区浜プランも水産庁の審査が完了した。今後、両地区の漁業者は、令和8年度（2026年度）から5年間、第3期浜プランに基づき、所得目標や生産目標の達成に向けて取り組んでいくことになるため、計画に位置づけられた取組みが円滑に実施されるよう、関係機関と連携して支援を行う。

（2）ノリ養殖網冷凍施設の改築計画方針の作成の指導・支援

網田漁業協同組合では、今回整理した改築計画方針を踏まえ、今後施設改築に必要な国予算の確保に向けた取組みを進める予定である。今後も事業化に向けた協議や関係機関との調整が円滑に進むよう、継続して指導・支援を行う。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図 1 県漁連及び関係機関との計画協議状況



図 2 松尾漁協及び関係機関との計画協議状況



図 3 網田漁協及び関係機関との計画方針協議状況